

## デザイン・工芸部門

### 秋田から発信する美の創造者たち

秋田で活躍している工芸家とデザイナーを私なりに推薦した。

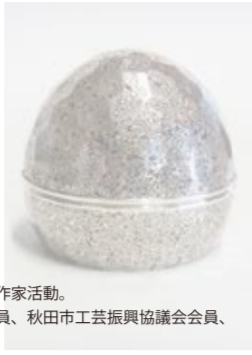
「工芸」には、様々な分野があり、出来るだけ同じ分野のダブリがない様に。日展の特選受賞者や現代の名工、また素材を生かした技術力、デザイン力を駆使した特徴ある分野で活躍している方々を選定した。

次に「デザイン」では、中央展の二科展デザイン部で活躍している審査員。コンピューターのソフト、フォトショップを駆使した作品づくりをしている若手デザイナー。様々な紙を用いた立体作品（ペーパーレリーフ）づくりのデザイナー。手描きによる作品づくりのデザイナーなど、ユニークでバラエティーにとんだ、現在活躍中の方々を選定した。 青木隆吉（デザイン・工芸部門推薦者・秋田県芸術文化協会会長）



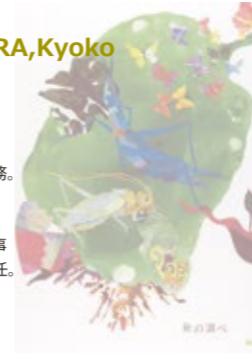
千貝弘 CHIGAI, Hiroshi

1944 南秋田郡五城目町生まれ  
1964 科学技術庁長官賞（衛星工夫）  
1969 顕彰を始める  
1997 秋田市優秀技術者表彰  
2001 秋田市文化選奨  
2002 秋田県優良技術者表彰（秋田の名工）  
2003 第 29 回秋田県芸術選奨  
2006 卓越技術者表彰（現代の名工）  
2008 美観選奨  
現在、「はぎ合わせ」(本自製)の技法を用いて作家活動。  
秋田県工芸家協会会長、秋田市美術工芸協会会長、秋田市工芸振興協議会会長、日本工芸会正会員



小笠原京子 OGASAWARA, Kyoko

1947 由利本荘市生まれ  
1965 秋田県立本荘高等学校卒業  
1969 秋田大学教育学部卒業  
教諭として秋田県内の小中学校に勤務。  
秋田県美術展覧会奨励賞 3 回受賞。  
秋田デザイン協会会員  
1994 秋田県教育庁中央教育事務所指導主事  
1998 秋田市内の 3 つの小学校で校長を歴任。  
2005 二科会デザイン部会長  
2007 聖霊学園短期大学に勤務。  
2012 二科会デザイン部会長



デザイン・工芸部門推薦者  
青木隆吉 AOKI, Ryukichi

1938 秋田市生まれ  
1960 多摩美術大学美術学部卒業  
1964 秋田市立工芸学校教諭  
1967 第 9 回秋田県美術展覧会特賞  
1970 第 55 回二科展高麗美術山之内製菓賞  
1983 二科会デザイン部会長  
1998 秋田公立美術工芸短期大学教授。第 83 回二科会会員努力賞  
1999 秋田県芸術文化選奨  
現在、秋田県芸術文化協会会長、秋田県デザイン協会会長、秋田県造形美術家協会会長、秋田県工芸工芸研究会会長、秋田県美術展覧会専門委員、秋田県工芸家協会賛助会員



近間義一 CHIKAMA, Yoshikazu

1947 秋田市生まれ  
1964 秋田市立工芸学校デザイン科卒業  
1966 第 51 回二科展商業美術部初入選（68、70 年も入選）  
1967 日本デザインスクール卒業（現日本デザイン福祉専門学校）  
株式会社アド・東京デザイン部入社  
1969 東京でフリーのデザイナーとして活動を始める。  
印刷関係、出版、食品会社などの企画デザイン、パッケージデザインなど。  
2009 秋田県に限り制作活動を始める。  
現在、イラストレーションを中心に全国へ作品を提供している。



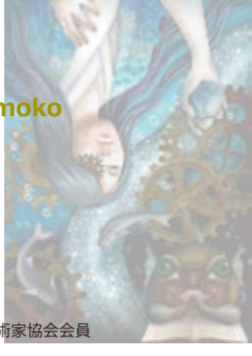
佐藤待子 SATO, Machiko

1948 仙北市角館生まれ  
1967 秋田県立角館高等学校卒業。ABS 秋田放送入社  
1986 二科会デザイン部会員推薦  
2011 ABS 秋田放送退社  
秋田県美術展覧会特賞、奨励賞を受賞。二科展で特選賞、奨励賞、会友賞、酒造組合中央会長賞、会員努力賞を受賞。



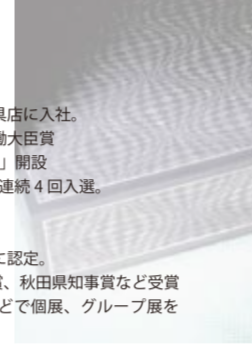
深沢朋子 FUKASAWA, Tomoko

1976 秋田市生まれ  
1995 秋田経済法科大学附属高等学校卒業  
1997 秋田公立美術工芸短期大学卒業  
1999 第 84 回二科展デザイン部奨励賞  
2001 第 86 回二科展デザイン部特選  
2013 第 63 回千葉工芸展 入賞（第 65 回）  
2014 第 56 回秋田県美術展覧会奨励賞  
現在、秋田県デザイン協会会員、秋田県造形美術家協会会員



佐藤咲夫 SATO, Sakio

1950 由利本荘市生まれ  
1968 秋田県立矢島高等学校卒業。市内建具店に入社。  
1986 全国一級技能士技能競技会第一位労働大臣賞  
1996 建具店退社。木工芸に専心。「工房吹」開設  
1998 伝統工芸新作家初入選。2002 年まで連続 4 回入選。  
2010 秋田県優良技術者表彰（秋田の名工）  
2011 第 36 回秋田県芸術選奨  
2014 国土緑化推進機構より森の名手名人に認定。  
秋田県工芸家協会作品展等において工芸大賞、秋田県知事賞など受賞を重ねる。全国有名百貨店、ギャラリーなどで個展、グループ展を多数開催。



小林貴子 KOBAYASHI, Takako

1955 秋田市生まれ  
1973 聖堂女子短期大学附属高等学校卒業  
東京友禅の仕事を始める。  
1984 新居区立新南高等学校デザイン科卒業  
1986 秋田に移住。同業の夫と供に友禅工房 麗立  
1994 第 33 回秋田県工芸家協会展 工芸大賞  
2014 第 6 回秋田県芸術選奨 工芸大賞  
2015 第 24 回河北工芸展 JAL 賞  
第 41 回秋田県芸術選奨



進藤春雄 SHINDO, haruo

1946 秋田市河辺生まれ  
1961 東京都内にて金銀細工の基礎技術を修業。  
1969 独立  
1976 秋田県美術展覧会初入選  
1982 日展初入選  
1984 日本新工芸展初入選  
1993 皇太子殿下ご成婚記念秋田県献上品製作  
1996 第 21 回秋田県芸術選奨  
2001 秋田県優良技術者表彰（秋田の名工）  
2005 卓越技術者表彰（現代の名工）  
2008 黄綬褒章



香澤則雄 KUTSUZAWA, Norio

1941 湯沢市川連町生まれ  
1960 秋田県立湯沢高等学校卒業  
1964 第 7 回日展初入選  
1981 第 20 回日本現代工芸美術展審査員（以降 9 回）  
1989 現代工芸美術家協会監事（1998 年より理事）  
1994 第 26 回日展特選（第 30 回でも受賞）  
1998 AKITA ワールドゲームズ 2001  
入賞メダルのデザイン及び制作。  
2002 日展委員会に推薦。審査員を務める。  
2003 秋田県文化功労者表彰  
2009 地域文化功労者文部科学大臣表彰  
2017 河北文化賞



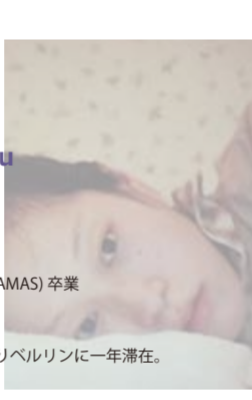
若狭一久 WAKASA, Kazuhisa

1950 秋田市生まれ  
1968 秋田市立工芸学校デザイン科卒業  
株式会社サキガキ・アド・ブレン入社  
第 55 回二科展商業美術部初入選  
二科会デザイン部会長  
1982 第 24 回秋田県美術展覧会特賞  
1992 二科会デザイン部会長  
現在、秋田県美術展覧会専門委員、秋田県デザイン協会副会長、秋田県造形美術家協会会員



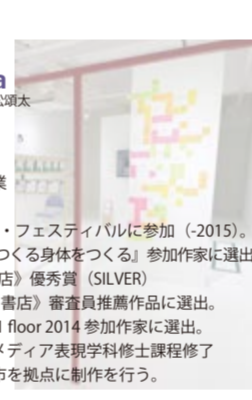
高嶺格 TAKAMINE, Tadasu

1968 鹿兒島県鹿島市生まれ  
1986 鹿兒島県立甲南高等学校卒業  
1991 東京都立芸術大学造形学部卒業  
1999 岐阜県立国際情報科学芸術アカデミー (IAMAS) 卒業  
2004 岐阜県立国際情報科学芸術アカデミー (現職)  
2013 秋田公立美術大学准教授（現職）  
2013 DAAD (ドイツ芸術交流会) の招聘によりベルリンに一年滞在。  
2016 臺北立芸術大学客員教授（-2017）



内田聖良 UCHIDA, Seira

1985 埼玉県越谷市生まれ  
2004 埼玉県立浦和第一女子高等学校卒業  
2009 武蔵野美術大学造形学部油絵学科卒業  
2010 東京の条件 新人作家枠に選出。  
2011 「余白ネットワーク」アサヒ・アート・フェスティバルに参加（-2015）  
2012 文化庁委託事業メディアム「道徳をつくる身体をつくる」参加作家に選出。  
2013 第 19 回学生 CG コンテスト（余白書店）優秀賞（SILVER）  
2014 第 18 回文化庁メディア芸術祭（余白書店）審査員推薦作品に選出。  
若手芸術家・キュレーター支援企画 1 floor 2014 参加作家に選出。  
情報科学芸術大学院大学 (IAMAS) メディア表現学科修士課程修了  
2016 秋田公立美術大学助手に就任。秋田市を拠点に制作を行う。



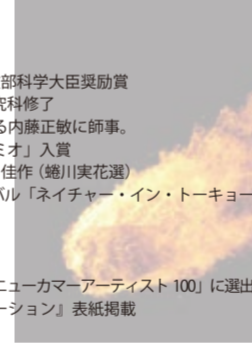
工藤千尋 KUDO, Chihiro

1981 秋田市生まれ  
2000 秋田県立秋田高等学校卒業  
2005 東京藝術大学芸術学部先端芸術表現科卒業  
<表現の氷河>展  
2008 取手アートプロジェクト 2008  
2012 <東北を聞く神話>展  
2014 企画展「ホコラト宣言」  
2015 ホコラト 全国公開展 vol.5 審査員特別賞「中村政人賞」受賞  
2017 第 2 0 回日本現代美術展賞入選  
2017 第 3 回林美文字学賞大賞受賞  
小説「トリッパー春号」に受賞作「とせね、かちやくちやね」が掲載。



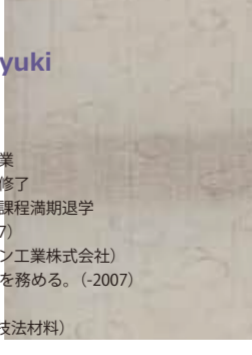
草薙裕 KUSANAGI, Yu

1982 仙北市生まれ  
2000 秋田県立角館高等学校卒業  
2005 第 33 回日本広告写真家協会公募展文部科学大臣奨励賞  
2007 東北芸術工科大学大学院芸術工学研究科修了  
大学時代、写真家・民俗学者である内藤正敏に師事。  
コニカミノルタ主催「フォト・プレミオ」入賞  
2010 Canon 主催「2010 年度写真新世紀」佳作（雄川実花選）  
2014 KYOTOGRAPHIE 国際写真フェスティバル「ネイチャー・イン・トーキョー」  
2016 写真集「SNOW」(FOIL 出版) 刊行  
草薙裕写真展「雪と、水」  
草薙裕写真展「SNOW」  
「美術手帳 1046 号」あなたの知らないニューカマーアーティスト 100 に選出  
富士ゼロックス広報誌「グラフィケーション」表紙掲載  
秋田公立美術大学助手に就任。



秋本貴透 AKIMOTO, Takayuki

1962 秋田県鹿角市生まれ  
1980 秋田県立十和田高等学校卒業  
1986 東京藝術大学美術学部絵画科油絵専攻卒業  
1988 東京藝術大学大学院美術研究科修士課程修了  
1991 東京藝術大学大学院美術研究科博士後期課程満期退学  
1994 東京藝術大学美術学部非常勤講師（-1997）  
2002 産学共同研究（東京藝術大学とホルベイン工業株式会社）  
理想的な絵画、油一の研究開発主任を務める。（-2007）  
2012 東京藝術大学美術学部准教授  
現在、東京藝術大学美術学部絵画科教授（油画技法材料）



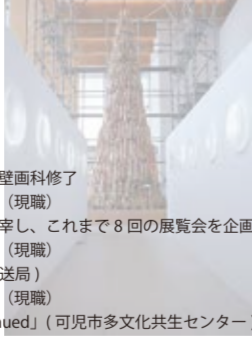
保坂剛志 HOSAKA, Takeshi

1988 秋田市生まれ  
2009 秋田公立美術工芸短期大学工芸美術学科卒業  
2012 EMERGING DIRECTOR 'S ART FAIR ULTRA 005 オクトーバーサイド」  
2013 「東北を聞く神話展 第 2 章」  
2014 個展「織物の造形」  
2015 「オゾフェス」1 出展  
2016 企画展「針先の生態系」



現代美術部門推薦者  
岩井成昭 IWAI, Shigeaki

1962 東京都千代田区生まれ  
1981 東京都立清瀬高等学校卒業  
1987 東京藝術大学美術学部油絵専攻卒業  
1989 東京藝術大学大学院美術研究科絵画専攻修士課程修了  
2005 東京藝術大学音楽環境創造科非常勤講師（現職）  
2010 イミグレーションミュージアム東京を主宰し、これまで 8 回の展覧会を企画・監修（現職）  
2013 秋田公立美術大学美術学部美術学科教授（現職）  
2015 個展「人口減少 × アート」(NHK 秋田放送局)  
2017 秋田公立美術大学大学院総合芸術科教授（現職）  
映像プロジェクト「Journey to be continued」(見聞市多文化共生センター)



## 現代美術部門

### 「靈感（インスピレーション）と技術知」—現代美術のセクションとして

本展「あきたの美術」は、「あきたの代表的な美術」を紹介する展覧会だと思われる方も多いだろう。

しかし、その実態は「あきたの＜現在進行形の＞美術」を紹介する展覧会である。今後は分らないが、現在秋田の美術界に少なからず刺激を与え、足跡を残す可能性の高い表現。少なくとも私はそうと見ており、推薦の依頼を受けた後、「秋田県内の在住者か出身者」という条件のもと 6 人の美術家を選出した。現代美術の多様な仕事を紹介することを心がけたが、共通するテーマは「靈感と技術知」である。作家がどんなに素晴らしい靈感（インスピレーション）を感じても、表現としての技術が不足、或いは適切に作用しなければ、それは作品になり得ない。その逆もまた真である。要はこの二つの要素を作家がいかにバランスを取りコントロールしたうえで作品にこぎ着けているのかが着目する。そして、私たちが鑑賞者がそのような視点を持つことで、鑑賞体験がより豊かになることを望むのである。現代美術の主題はその多くが同時代に生きる私たちの「気づき」の中に在る。本展で紹介される作品は、立体、平面、ビデオ、インスタレーションと多様な表現手法をとっているが、これはごく当然のことで、現代美術の作品をその形態や素材でジャンル分けすることくらい無意味なことではない。本展は以上のような観点を織りこみながら、秋田の現代美術を概観する内容になるはずである。

また、本展は私自身が勤務する秋田公立美術大学に関係する作家が多く選出されている。結果的にそうなったことは自身でも驚いているが、その一方で、大学が全国から優秀な人材を集めて、同様の人材を輩出するセンターとしての役割を果たしていることの証と解釈できると有りがたい。作家選定に関して、後藤仁氏さん、松浦雅彦さん、佐々木陽子さん、そして秋美の同僚の先生方にも貴重な情報を頂くことができた。この場をかりて感謝の念を記しておきたい。

岩井成昭（現代美術部門推薦者・秋田公立美術大学教授）



## 推薦者、アーティストによる ギャラリートークを開催いたします。

●2017 年 10 月 29 日（日）14:00- 参加・観覧無料

展示室において、推薦者・アーティストによるギャラリートークを開催いたします。作品・制作について解説していただきます。（但し全員出席ではありません）  
お問い合わせは秋田県文化振興課まで。  
TEL 018-860-1530



## 秋田のアーティストをサポートしよう！ アートサポーター募集！！

あきたの美術 2017 展をはじめ、秋田県が主催するアートイベントのお手伝いをして下さる方（無償）を募集しています。アートに興味がある方、アーティストのお手伝いをしてみたい方、ぜひ御参加ください。  
お問い合わせは秋田県文化振興課まで。  
TEL 018-860-1530

華麗なグラフィックアートと  
伝統の技が生み出すモダン！

あきたの美術 2017 展  
現代美術の  
刺激を  
あきたの美術 2017 展

# AA 2017 Exhibition

あきたの美術 2017 展  
●AKITA MUSEUM OF ART 1F Public Gallery  
●open 10:00・close 17:00 (\*11.5 close 15:00)  
admission free  
●gallery talk・2017.10.29, 14:00-  
主催 ■秋田県観光文化スポーツ部文化振興課  
お問い合わせ ■TEL:018-860-1530 FAX:018-860-3880

あきたの美術 2017 展  
●秋田県立美術館 1F 市民ギャラリー  
●開館 10:00-17:00 (\*11.5 閉館 15:00)  
●ギャラリートーク・2017.10.29 14:00-  
お問い合わせ ■TEL:018-860-1530 FAX:018-860-3880

# AW 2017 Exhibition

## あきたの美術 2017 展の開催にあたり

秋田県のアートシーンを紹介する「あきたの美術展」は昭和 34 年に始まった「秋田県現代美術展」が前身で、今年で 59 回目の開催となります。様変わりした美術界に対応しながら、少しずつそのスタイルと名称を変えてきました。平成 24 年に「あきたの美術展」と改称し、現在に至っています。平成 27 年から、ゆるやかに部門、ジャンルを解体しながら、幅広くアーティスト、作品を丁寧に紹介するスタンスを模索しています。また推薦にあたってはアーティストの他に学芸員、教育者、ギャラリストといった客観的な視座をもった推薦者を登用しました。これにより現代アートシーンを捉えた、高い次元の展覧会の開催を目指しています。今年度は青木隆吉氏（デザイン・工芸部門、秋田県芸術文化協会会長）、岩井成昭氏（現代美術部門、秋田公立美術大学教授）が目指す 16 名のアーティストたちをご紹介します。秋田県立美術館に会する「あきたの美術」をぜひご覧ください。



## 推薦者、アーティストによる ギャラリートークを開催いたします。

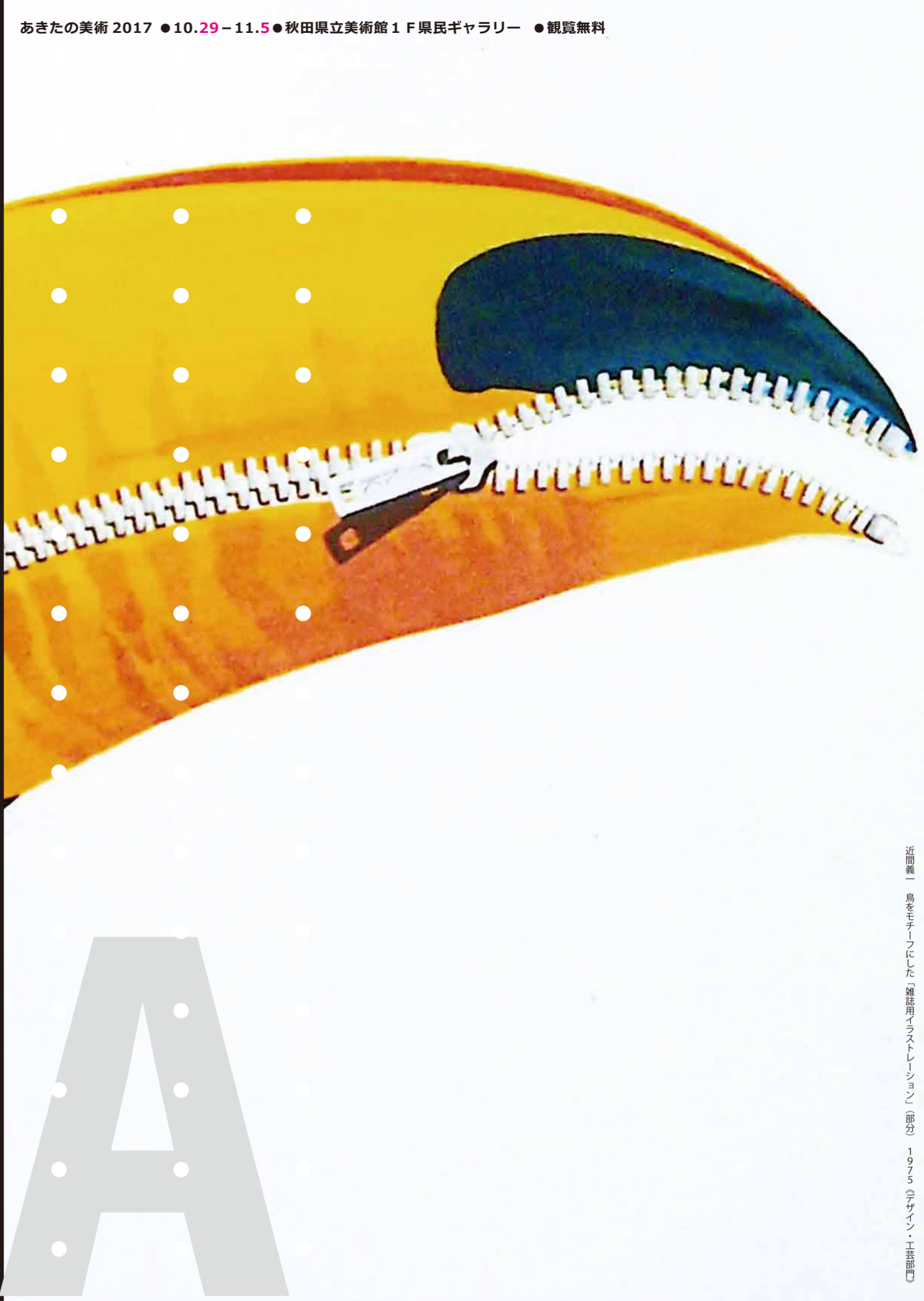
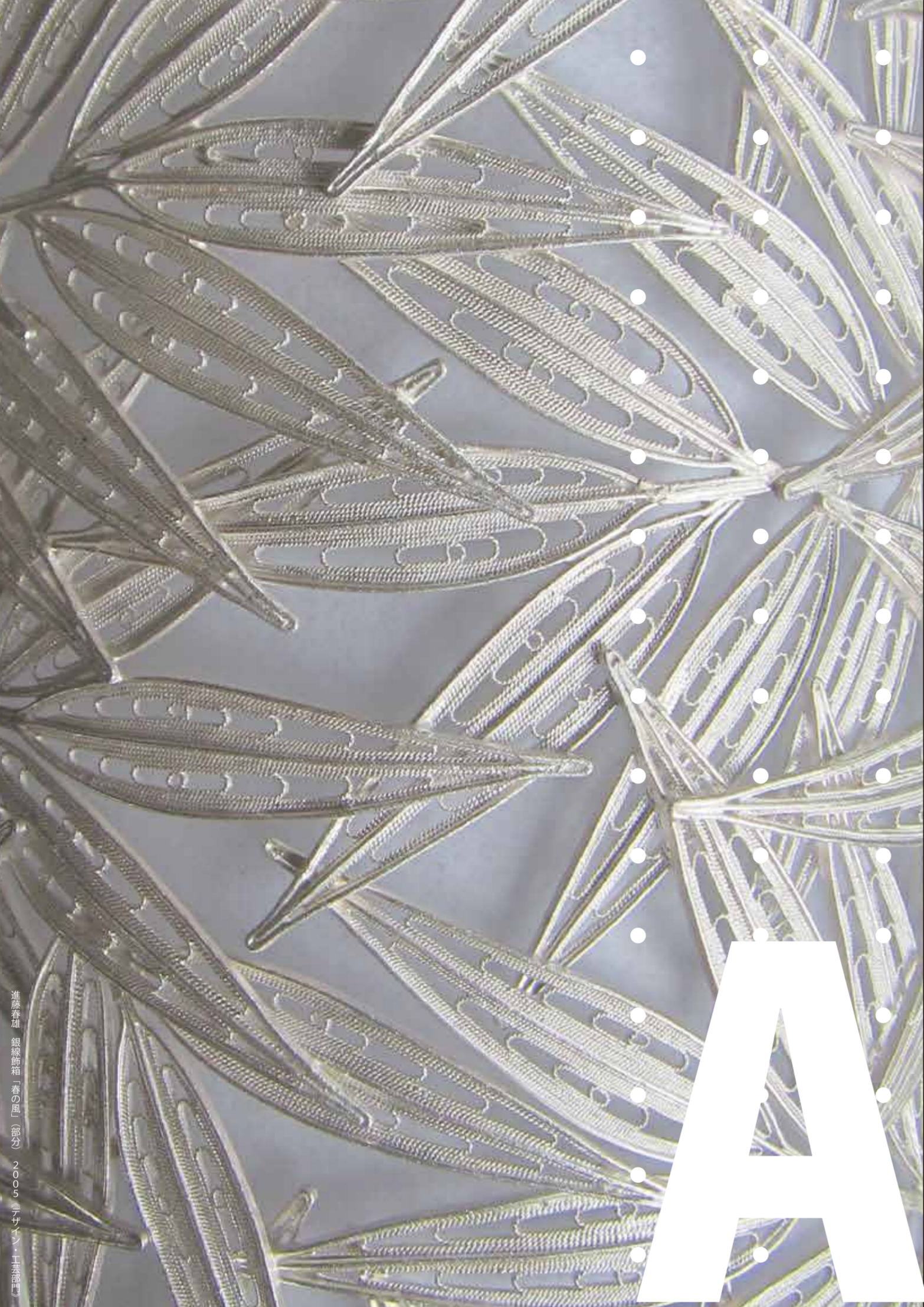
●2017 年 10 月 29 日（日）14:00- 参加・観覧無料

展示室において、推薦者・アーティストによるギャラリートークを開催いたします。作品・制作について解説していただきます。（但し全員出席ではありません）  
お問い合わせは秋田県文化振興課まで。  
TEL 018-860-1530



## 秋田のアーティストをサポートしよう！ アートサポーター募集！！

あきたの美術 2017 展をはじめ、秋田県が主催するアートイベントのお手伝いをして下さる方（無償）を募集しています。アートに興味がある方、アーティストのお手伝いをしてみたい方、ぜひ御参加ください。  
お問い合わせは秋田県文化振興課まで。  
TEL 018-860-1530



# AA



# 2017 Exhibition.

「アキタの美術 2017」展覧会事務局 事務局

「あきたの美術 2017」展覧会事務局 事務局

「あきたの美術 2017」展覧会事務局 事務局

「あきたの美術 2017」展覧会事務局 事務局